

【マグネシウム・ミニランタン 関連記事】

LED懐中電灯 木津川市が備蓄

木津川市は、災害時の備蓄資材として、マグネシウム電池式のLED懐中電灯を100個用意した。水を入れるだけで1週間程度は連続発光するという。

マグネシウム電池の研究・開発などを手がける横浜市の企業が製作。市によると自治体が採用するのは関西では初という。

てのひらサイズで、水を2ccほど注入すれば光り、お酒やお茶、ジュース、汚水などでもよい。最初は最低72時間は点灯

水で1週間ほど発光



し、暗くなってきたら水を少量補給すれば明るくなる。自己放電しないため、長期間の保存に適しているという。

市は、災害が起きれば避難所で配布することにしており、今後も備蓄数を増やしていく方針。